

薬剤疫学セミナー「ビギナーコース2009」を開催

くすりの適正使用協議会は、薬剤疫学の普及を目的に様々な活動を展開しています。

その一環として、製造販売後調査部門の経験年数が浅い方を対象とした薬剤疫学入門編の公開セミナー「ビギナーコース」を毎年、東京と大阪で開催しています。

毎年、多くの方が参加され、今年も東京会場は約90人、大阪会場も約40人が受講し、両会場とも大変活気のある有意義な「セミナー」となりました。

セミナーの内容

薬剤疫学はPharmacovigilance(医薬品安全性監視)がますます強化される中で、製造販売後医薬品の有効性と安全性を客観的に検出する方法論として注目されています。今回のセミナーでは、製造販売後調査部門の経験が浅い方でも薬剤疫学が平易に感じられるよう、用語の解説と基本的な研究デザインについて事例を交えながら説明しました。

特別講演は、「医薬品の製造販売後観察データより創り出す適正使用情報」と題し、名城大学薬学部医薬品情報学研究室 教授 後藤伸之先生から、ご自身が実施した多くの研究事例を紹介いただくとともに、育薬のために製造販売後調査部門が果たすべき役割の重要性を強調いただきました。

スライドの内容を一新

昨年までのアンケート結果やビギナーコースとして理解しやすい構成について検討し、スライドの内容を全面的に改訂しました。事例は昨年協議会が発行した「実例で学ぶ 一薬剤疫学の第一歩」のコホート研究とケース・コントロール研究からそれぞれ一つずつ抜き出し、入れ替えました。図表もビギナーコース全体の理解が深まりやすいよう統一したデザインとし、構成も必要に応じて詳しく解説するなど、ブラッシュアップを図りました。これにより、より理解しやすい内容になったと思います。



セミナーの概要

●会場／開催日時

東京:大手町サンスカイルーム／

7月23日(木) 9:30-17:10

大阪:大阪薬業年金会館／

7月30日(木) 9:30-17:10

●内容

- 医薬品安全性監視(Pharmacovigilance)
- 疫学
- 薬剤疫学／症例報告／症例集積検討
- コホート研究
- ケース・コントロール研究
- ネステッド・ケース・コントロール研究

●特別講演

「医薬品の製造販売後観察データより創り出す適正使用情報」

名城大学薬学部 教授 後藤 伸之 先生

●研修講師

東京:下寺運営委員(万有製薬株式会社)、

佐々木運営委員(日本イーライリリー株式会社)、

大道寺運営委員(エーザイ株式会社)、

小林運営委員(アステラス製薬株式会社)、

佐藤運営委員(協和発酵キリン株式会社)

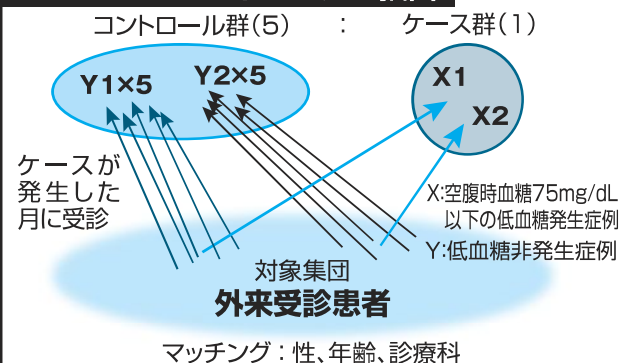
大阪:下寺運営委員、小林運営委員

武部運営委員(日本新薬株式会社)、

大道寺運営委員、

澤田運営委員(田辺三菱製薬株式会社)

ケースおよびコントロールの抽出



新しく作成したスライドの一例です。ケース・コントロール研究でのケースとコントロールをどのように抽出するかを図で表しています。